

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：(1、2、3組：三古 誠也) (4、5、6、7、8組：渡邊 光)

使用教科書：(新版 公共(数研出版))

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
第1章 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 青年期の特徴、哲学の源流思想、宗教、日本の思想及び西洋思想の需要などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己形成の課題を考察し哲学・宗教・生活文化が人間に与えている影響に気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよく生きることへの自覚を深める	第1章 公共的な空間をつくる私たち 青年期と自己形成 人間としての自覚 日本人としての自覚	【知識・技能】 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であること、古代ギリシャや古代中国の思想、世界の宗教、日本人の思想などを理解できている。 【思考・判断・表現】 自己形成の課題について考察でき、哲学・宗教・生活文化が人間に与えている影響に気づいている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよく生きることについての自覚を深められている。	○	○	○	5
第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究できる。	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 西洋近現代の思想	【知識・技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の課題を主体的に追究できている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究できる。	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 現代の諸課題と倫理	【知識・技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の課題を主体的に追究できている。	○	○	○	3
第3章 公共的な空間における基本 原理 【知識及び技能】 法などの社会規範の役割、民主政治のあゆみ、日本国憲法の三大原理や第9条の内容、日本国憲法で保障されている権利を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法で保障されている権利と公共の福祉の関係、日本の平和主義のあり方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。	第3章 公共的な空間における基本 原理 民主社会の基本 原理 日本社会の基本 原理	【知識・技能】 法などの社会規範の役割、民主政治のあゆみ、日本国憲法の三大原理や第9条の内容、日本国憲法で保障されている権利を理解している。 【思考・判断・表現】 民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法で保障されている権利と公共の福祉の関係、日本の平和主義のあり方を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

2 学 期	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 【知識及び技能】日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】日本の政治のしくみを学習しながら、そこに潜む問題点を探しながら解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】具体的な事例や判例を通して、さまざまな問題を自分事としてとらえ	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	【知識・技能】日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解できている。 【思考・判断・表現】日本の政治のしくみに潜む問題点を探しながら解決策を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】具体的な事例や判例を通して、さまざまな問題を自分の立場で考えてみようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 【知識及び技能】現代の企業、市場経済、各種経済指標、金融・財政のしくみ、戦後日本経済のあゆみ、産業構造の変化、中小企業や農業、契約の原則、雇用・労働問題や社会保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について統計資料などを見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられるようにする。	第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 経済のしくみと市場機構 財政と金融 日本経済の発展と変化 豊かな生活と福祉の実現	【知識・技能】現代の企業、市場経済、各種経済指標、金融・財政のしくみ、戦後日本経済のあゆみ、産業構造の変化、中小企業や農業、契約の原則、雇用・労働問題や社会保障について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について当家資料などを見ながら考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第6章 国際社会の動向と日本の役割 【知識及び技能】国際法の意義、国際連合の組織、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中での日本の役割を理解する。 貿易や外国為替相場、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国際政治・経済の様々な問題について地図・資料などを見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の一員としてどんな貢献ができるか考える。	第6章 国際社会の動向と日本の役割 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割 国際経済の動向と国際協力	【知識及び技能】国際法の意義、国際連合の組織、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中での日本の役割を理解している。 貿易や外国為替相場、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国際政治・経済の様々な問題について地図・資料などを見ながら考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の一員としてどんな貢献ができるか考えられている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
合計							
70							

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：三古 誠也

使用教科書：（政治・経済（東京書籍））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
第1編 第1章 1節 ○民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 ○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。 2節 ○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 ○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。 3節 ○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。 ○国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にどのような課題が	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 1 民主政治の成立 2 法と民主政治 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治 5 世界のおもな政治体制 2節 日本国憲法の基本原則 1 日本国憲法の制定と基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義 3節 日本の政治機構 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治	【知識及び技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	10	
	定期考査		【学びに向かう力、人間性等】	○	○		1
	1学期 4節 ○政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 ○具体的な政策を通して、主権者である自分はどうに政治参加をしていけばよいか考察する。 第2章 1節 ○経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解する。 ○資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか考察する。 2節 ○戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。 ○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。 3節 ○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と社会の変化 4節 ○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と社会の変化、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。 ○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができているか考察する。	4節 現代政治の特質と課題 1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容 2節 現代経済のしくみ 1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業 3 市場経済の機能と限界 4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと機能 3節 日本経済の発展と現状 1 戦後日本経済の発展 2 日本経済の現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 1 公害と環境保全 2 農業・食料問題 3 中小企業の現状と課題 4 情報化の進展と社会の変化 5 消費者問題 6 雇用と労働問題 7 社会保障と福祉 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	【知識及び技能】 ・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解している。 ・経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主権者である自分はどうに政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	11
定期考査		【知識・技能】 ・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連合の役割と課題について理解している。 ・第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解している。 ・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国	○	○		1	

2 学 期	共通テストに向けた過去問演習	過去問演習と解説	<p>【知識・技能】 入試過去問演習を通して、基礎的知識の定着を図ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試過去問演習を通して、思考・判断・表現能力を養うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 入試過去問演習を通して、自身の学習進捗を把握し、課題克服に向けて学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	共通テストに向けた過去問演習	過去問演習と解説	<p>【知識・技能】 入試過去問演習を通して、基礎的知識の定着を図ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試過去問演習を通して、思考・判断・表現能力を養うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 入試過去問演習を通して、自身の学習進捗を把握し、課題克服に向けて学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	共通テストに向けた過去問演習	過去問演習と解説	<p>【知識・技能】 入試過去問演習を通して、基礎的知識の定着を図ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試過去問演習を通して、思考・判断・表現能力を養うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 入試過去問演習を通して、自身の学習進捗を把握し、課題克服に向けて学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
合計							70

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者： 渡邊 光

使用教科書：(倫理 (東京書籍))

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようになります。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養います。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めます。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 人間の心の在り方 ねらい ○人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。	・人間とは何か ・人間の心の働き	【知識及び技能】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、適切な知識を習得している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことを適切な方法で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方を主体的に探究している。	○	○	○	13
定期考査		・用語や概念、思想の理解などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。 (例)主として知識・理解の観点から50%の配分で出題、資料から読み取れる事柄に関して20%の配分で出題 ・論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 (例)主として思考・判断の観点から30%の配分で出題	○	○		1
1 学期 B さまざまな人生観・倫理観・世界観 I ねらい ○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、人生における宗教や芸術の意義について理解し、さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	・哲学すること ・ギリシャの思想 ・宗教と社会 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想 ・芸術	【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、人生における宗教や芸術の意義について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、宗教や芸術に見られるさまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことを適切な方法で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、宗教や芸術に見られるさまざまな人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	16
定期考査		・用語や概念、思想の理解などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。 (例)主として知識・理解の観点から50%の配分で出題、資料から読み取れる事柄に関して20%の配分で出題 ・論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 (例)主として思考・判断の観点から30%の配分で出題	○	○		1

2 学 期	C さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ねらい ○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	<ul style="list-style-type: none"> 近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳と人倫の思想 社会変革の思想 理性への疑念 人間観・言語観の問い直し 他者・自然とのかかわり 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	○	○	○	14
	定期考査		<ul style="list-style-type: none"> 用語や概念、思想の理解などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。 (例)主として知識・理解の観点から50%の配分で出題。資料から読み取れる事柄に関して20%の配分で出題。 論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 (例)主として思考・判断の観点から30%の配分で出題。 	○	○		1
	D 国際社会に生きる日本人としての自覚 ねらい ○古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想について理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の精神風土 仏教と日本人の思想形成 儒教と日本人の思想形成 国学の思想 庶民の思想 西洋思想と日本人の近代化 国際社会に生きる日本人の自覚 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手がかりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	○	○	○	15
定期考査		<ul style="list-style-type: none"> 用語や概念、思想の理解などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。 (例)主として知識・理解の観点から50%の配分で出題。資料から読み取れる事柄に関して20%の配分で出題。 論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 (例)主として思考・判断の観点から30%の配分で出題。 	○	○		1	
3 学 期	E 現代の諸課題と倫理 ○第1編で学習した事項を基盤に、生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、「生きることの意義」について思索する。	<ul style="list-style-type: none"> 生命 自然 科学技術 福祉 文化と宗教 戦争と平和 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	○	○	○	7
	定期考査		<ul style="list-style-type: none"> 用語や概念、思想の理解などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。 (例)主として知識・理解の観点から50%の配分で出題。資料から読み取れる事柄に関して20%の配分で出題。 論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 (例)主として思考・判断の観点から30%の配分で出題。 	○	○		1
合計							70